



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 相澤 隆
幹事 佐藤 卓立

クラブ奉仕委員会
委員長

会報・雑誌・広報・
IT小委員会委員長

黒澤 信之

大平 謹一郎

令和2年3月30日(月) 第26回 通算第1560回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第26回例会 点鐘12:30

◇開会点鐘 相澤 隆会長

◇ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 高橋 智弘 会員



◇「四つのテスト」唱和

職業奉仕委員会 渡辺 敬藏 委員長

◇お客様並びにビジター紹介

(有)リスクマネジメントハウス 代表取締役 宮崎 秀剛 様

3月誕生祝い

・渡辺 敬藏 会員 昭和21年3月14日生

・寺島 英樹 会員 昭和40年3月22日生

◇会長あいさつ 相澤 隆会長

皆さんこんにちは。まずは3月誕生祝いの皆さん、改めましておめでとうございます。前回の移動夜間例会以降、世界的に「新型コロナウイルス」の感染拡大が続いておりまして、皆さんご承知のように、東京オリンピックも延期・仕切り直しということになってしまいました。

ロータリーにおきましても、前回お知らせしましたように3月と4月に予定されていた地区・分区関係の行事やセミナーはほとんどが中止。復興フォーラムにつきましても6月19・20日に延期ということになりました。また、6月6～10日にハワイで開催予定でありましたロータリー国際大会につきましても、出席者や関係者、さらには開催地の市民の健康と安全を守るために中止という判断が下されております。

当クラブでも、政府が2月末に「ここ1、2週間が今後の国内での健康被害を最小限に抑える上で極めて重要な時期」という判断を示したのを受け、9日の通常例会を休会としたところでありました。前回の例会でも申し上げましたが、今後、各種行事の変更・中止を余儀なくされるケースが出てくるのが予想されます。理事会等で対応を判断してまいりたいと思いますので、例会の予定変更など、事務局からの連絡には注意をさせていただきますようお願いいたします。

さて、暗い話題が続いておりますので、少し明る

い話もさせていただきますと、県内にもようやく桜前線が到達しました。いわき市小名浜で3月24日、福島市では28日に開花となりました。これは平年よりも12日、昨年と比べて8日も早く、福島市の観測史上最速の開花ということでもあります。

先日、新聞に「桜を愛するアマチュアカメラマンの会」がまとめた2020年版の「県内1本桜番付表」というのが載っておりました。この番付によりますと、横綱は三春町の「滝桜」、郡山市の「紅枝垂地蔵桜」、古殿町の「越代の桜」の3本。大関には二本松市岩代の「合戦場のしだれ桜」、川俣町の「秋山の駒桜」、矢祭町の「戸津辺の桜」、本宮市の「塩ノ崎の大桜」。以下、関脇には会津若松市の「石部桜」、いわき市の「諏訪神社のしだれ桜」、郡山市の「雪村(せつそん)桜」、二本松市の「中島の地蔵桜」と続きます。市町村別では、全72本のうち、三春町と二本松市が11本で最多、郡山市が10本、田村市が6本。地域別では会津4本、浜通り4本、残りの64本はすべて中通りとなっております。ちなみに福島市内では、東の前頭8枚目に松川町の「芳水の桜」、西の前頭24枚目に佐原の「慈徳寺の種まき桜」の2本がランクインしております。機会があれば観に行っていたいただければと思います。

本日はゲストスピーカーとして、リスクマネジメントハウス代表取締役の宮崎秀剛さんをお迎えしております。福島青年会議所の理事長も経験されておられることとあります。後ほどスピーチをしていただきますので、楽しみにいたしましてあいさつとさせていただきます。

◇幹事報告 佐藤 卓立 幹事

○例会変更のお知らせ

・福島東RC、3月4月の例会はすべて休会となっております。

○その他のお知らせ

・3月ロータリーレート、4月ロータリーレートは1ドル110円となりますのでお知らせ致します。

委員会報告

◇出席・スマイリングBOX小委員会 黒澤 信之 委員長

○相澤 隆会長＝宮崎様、本日はゲストスピーチよろしくお願いたします。

○佐藤卓立幹事＝月末で今月最初の通常例会です。でよろしく御願致します。宮崎様本日ゲストスピーチよろしく御願いたします。

○渡辺敬藏会員＝誕生祝いありがとうございます。

○根本いずみ会員＝健康でいること…それが一番の平和ですね。

——宮崎秀剛社長ゲストスピーチによせて——

- 大平謹一郎会員 ○佐藤慶行会員 ○久米允彦会員
○齋藤武二会員 ○佐藤宗弘会員 ○高梨哲男会員
○高橋智弘会員 ○野尻榮一会員 ○黒澤信之会員

本日のスマイリングBOX集計13件 26,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇会報・雑誌・広報・IT・小委員会 大平 謹一郎委員長
*「友」3月号紹介



横組 P 3 RI会長メッセージ
3月はローターアクトを祝う月です。昨春の規定審議会でローターアウトの地位が高められる決定がなされ、RIにはRCだけでなくRACも加盟クラブに含まれることになりました。若い仲間たちに門戸を開くだけでなく、彼らが夢中になれるようなロータリーの体験を敏感に察知していくべきです。

横組 P 5 3月9日～15日は世界ローターアクト週間です。2530地区で行われた「東北復興鍋フェス」の写真です。P17に記事が掲載されています。3月は水と衛生月間です。

横組 P 7 に特集記事 持続可能性のある支援とは次ページ データで見る世界の水と衛星の現状・アフリカの最近同行。P10より 我が国のロータリークラブの活動が載っています。台湾 先住民(アミ族)居住区の米棧村と広島北RC・広島陵北RC。ネパールと神埼RC・佐賀南RC・佐賀西RC・大村RC。フィリピンと鴨島RC。

横組 P18 The ROTARIAN 3月号より
ボルガー・クラークRI会長エレクトのインタビュー記事が載っています。67才 ローター史上初めてのドイツ出身。会長テーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。ロータリアンになれば、これまでなかった新しい機会が得られます。もちろん、その一つは奉仕の機会です。これにはもう一つの側面があります。私達の奉仕を必要とする人々にも機会を提供しているわけです。奉仕の機会は双方向のものなのです。又、P43はクラークRI会長エレクトの国際協議会での、スピーチの要旨が載っています。

横組 P32 よねやまだよりには
スリランカ米山学友会(2016年6月25日に設立)設立のきっかけはスリランカ出身の米山学友と彼らの熱意に動かされた第2530地区のロータリアンらの尽力によるもの。当時第2530地区米山奨学委員長は福島RCの加藤義朋氏でした。

横組 P38 福島中央RCが世話クラブの米山奨学生 劉 文華さんが書いています。国際関係の仕事で活躍したい。難しそうな事だからやりがいがあると。

縦組 P 4 変貌する自然災害と縮災対策
RI第2700地区IM基調講演要旨です。自然災害は更に増えます。日頃から事前に考え準備したことしか役に立ちません。安否確認は事前に準備できません。水の確保も事前にできます。食料の備蓄はできないかも知れません。自然災害には、簡単な解決策はありません。予知は困難で完全に防ぐ手立

てはありません。災害が起こることを前提として縮災対策を早急に実施すること。政府は国土の強靱化と訳しています。事後対策には災害のマネジメントが必要です。

縦組 P 9 長井中央RC 梅津雄浩さんです。
山形工房の社長さんで、競技用けん玉生産量日本一を誇る会社です。もしかめ、とめけん、宇宙一周で町おこしをしています。

◇本日のプログラム————ゲストスピーチ
(旬)リスクマネジメントハウス 代表取締役 宮崎 秀剛様

SDGs(エスディーズ)とは2015年9月の国連サミットで全会一致で採択されたもので、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標(その下に169のターゲットと232の指標)があります。SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。サステナブル ディベロップメント ゴールズ。特徴は、以下の5つ。

(普遍性)先進国を含め、全ての国が行動。(包摂性)人間の安全保障の理念を反映し「誰一人取り残さない」。(参画型)全てのステークホルダーが役割を。(統合性)社会・経済・環境に統合的に取り組む。(透明性)定期的にフォローアップ。

一方、ESG投資とは、環境・社会・企業統治に配慮している企業を重視・選別して行なう投資のことです。ESG評価の高い企業は事業の社会的意義、成長の持続性など優れた企業特性を持つと言えます。

(E) = 環境(Environment) 環境に配慮(二酸化炭素の排出量が多くないか、環境汚染をしていないか、再生可能エネルギーを使っているかなど)。

(S) = 社会(Social) 社会に貢献(地域活動への貢献、労働環境の改善、女性活躍の推進など)。

(G) = 企業統治(Governance) 収益を上げつつ、不祥事を防ぐ経営。世界最大の公的年金基金である GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)は1兆円規模のESG投資を2017年に開始し、今後3兆円まで増やす予定です。企業と社会の共通認識や指標への取り組みによって企業価値が持続的に向上すれば、GPIFにとっては長期的な投資リターンの拡大につながります。つまり、SDGs(エスディーズ)とESG投資は表裏の関係にあるということです。マネーバランスにおけるライフプランも同じ。ライフプランを描き、時には軌道修正します。向き合うからには、マネジメントやコントロールもします。原理原則に基づき、前へ進みましょう。



◇閉会点鐘 相澤 隆会長
※会報カメラ担当 大平 謹一郎会員

◇◇◇◇◇ 今後の行事予定 ◇◇◇◇◇

- ・4月6日(月) 例会 中止
- ・4月14日(火) 例会 中止
- ・4月20日(月) 例会 中止
- ・4月27日(月) 例会 休会